

本物の夢が、ここにある。

広沢商事(株) 専務取締役 野口稔夫 Noguchi Toshio



筑西市内にある「ザ・ヒロサワ・シティ」の広大な敷地の一角に、夢の宝石箱のような場所があります。

その名は、「ユメノバ」。この場所にあるのは、ただの乗り物の展示ではありません。

鉄道車両、飛行機、船、そして宇宙関連の貴重なもの。それぞれに込められているのは、人の憧れと挑戦、そして「できるはずだ」と信じて進み続けた、果てしない時間です。

「当然、本物じゃなきゃ、そこに込められた夢は伝わらない」と語る野口さん。

そう言って迎え入れたのは、戦後はじめて国内で開発・量産された旅客機「YS-11」や、JAXAの「きぼう」試作機など特別なものばかり。運ぶことすら困難な船を陸に上げた日も、すべてはこの場所に人々の夢を残すためでした。ユメノバは、過去を飾る場所ではありません。子どもも大人も夢を見ていいんだと、背中を押してくれる場所なのです。

■ 野口さんのおすそわけは、
夢を体験してもらうことです。

連絡先は、メール：honten@hirosawa-shoji.co.jp
ユメノバ 筑西市ザ・ヒロサワ・シティ